



はあもにい



2024年初夏 早島町に 透析クリニックを開院します！ 患者さんが通いやすく快適な施設を目指して！

理事長 重井 文博

透析者にとって、住み慣れた土地・生活している近くで透析を受けられること。これを私は、「透析の地域包括ケアシステム」と呼んでいます。

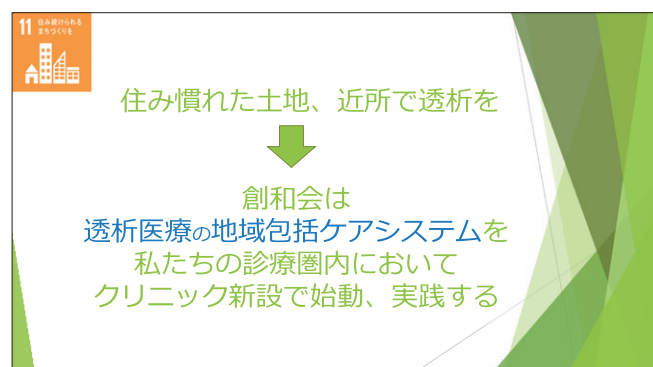
私たち創和会の診療圏内の透析者が、できるだけ住まいの近くで透析を受けられるように、しげい病院と研究所附属病院の中間、早島町役場にほど近い緑美しいエリアに、透析専門クリニックを開院することとしました。

2 ページ上段の絵は「第5次早島町総合計画」の早島町の将来イメージで、早島町のホームページに公開されています。新しいJR 早島駅前や駅前バイパス線が整備され、景観に配慮した街並みとともに、公園や広場、町役場などの公共施設が描かれています。そして新設される駅前バイパス線に隣接し、早島町役場や早島保育園などの公共施設に囲まれた場所が、クリニックの建築予定地です。

現在、設計事務所とともに急ピッチで建築図面

の検討を行っており、両院で透析医療を受けられている多くの方に選んでもらえる施設を目指しています。

予定地の現況は水田で、関係機関からの許可を得た上でスムーズに進めば2023年春から造成工事、2023年の冬ごろから建築工事を行い、2024年初夏に開業する予定です。職員の皆さん、協力をよろしく!!



▲創立記念日 理事長講演のスライドの抜粋



「第5次早島町総合計画」の早島町の将来イメージに、透析クリニックの開院予定地を重ねて表示

周辺地図



最大同時透析数

30 ベッド予定

国道2号線 無津交差点から

車で 5 分

JR 早島駅より

徒歩 7 分



▲写真中央：早島町役場 手前の水田が建築予定地

第 16 回交流会（合同情報交換会）を開催しました

創和会本部 人事部長 亀山 愛

交流会は、両院の主に役職者がグループワークを行うことで、相互の良い面を互いに吸収し合い、人材育成や視野の拡大、管理能力向上、業務の質向上に繋がることを目的に、2013 年度から本部主催で原則年 2 回開催してきました。

コロナ禍により一時中断していましたが、2021 年度からはオンラインとなり、オンラインとしては 3 回目となる第 16 回交流会を 8 月 30 日（火）に開催しました。

テーマは「部下指導育成」です。両院から所属長を務められている方 36 名（両院それぞれ 18 名）が参加、Zoom ミーティングのブレイクアウトルーム機能を利用して 7



グループに分かれ、画面上ではありますが「久しぶり！」の声掛けもあり意見交換が始まりました。悩みを共有し、具体的な課題を検討する



▲ Zoom ミーティングで参加準備中

中で、「見守る」「褒める」「任せる」といったキーワードが聞かれました。

今回は、初めての試みとして両院の看護部長、事務部長等の幹部職員 6 名の皆さんに共同ホストとして参加していただきました。ホストは、どのグループにも任意で参加することができ、意見交換中の皆さんとご一緒することができます。参加者は、看護部長、事務部長等の顔が突然画面に表示されるので、一瞬びっくりされながらも違和感なく進んでいました。川口看護部長から、「“部下育成への思いや、参考になる意見を実践してみます” という真剣なやり取りを聞くことができ、楽しく嬉しくなる時間でした。」とのコメントを後日いただきました。

コロナ禍で始まったオンライン開催ですが、会場への移動に係る時間短縮がはかれることは大きなメリットです。機器設置等でご協力いただいた両院のシステム担当職員の皆さんに感謝しつつ、今後も参加して良かったと思っていただけるような交流会を続けていきたいと思っています。

安否確認訓練

～アクションカード検証のための代行入力を実施～

しげい病院 医療支援部 総務課 比津 守弘

創和会では、地震等の災害発生時に職員の安否を確認するために「安否確認システム」を導入しており、職員は年 2 回（3 月と 9 月）、安否確認訓練を実施しています。

安否確認システムは、岡山県で震度 5 強以上の地震発生時に昼夜問わず SECOM e-革新から「安否確認メール」が送信され職員がスマートフォンアプリまたはメールに記載された URL へ接続し、自身の安否等を知らせるものです。

今回の訓練では、しげい病院の出勤済み職員を対象に BCP の職員班初動アクションカード検証のため、職員本人に代わって出勤中の情報を安否確認システムに返答する代行入力を行いました。当

日出勤者のデータは勤怠システム（TimePro VG）から情報を出力し、Access へデータを流し込み帳票を印刷して、出勤者の代行入力を総務課 3 名で行いました。当日出勤者約 300 名の入力作業に 1 時間を要しましたが、有事の際には人員を割くことができないことも考えられます。今後はマニュアルの簡素化も視野に検討し、訓練や疑似体験等のプロセスを繰り返し、少しずつステップアップしながら対応力を向上していきたいと思っています。

そして、大規模災害が発生した際に全職員から正確な回答を得られるよう、年 2 回の訓練を継続していきます。また来るべき災害時に機能すべく、BCP やアクションカードの精度を高めていきたいと思っています。

プロのカメラマンに写真撮影を依頼！



研究所附属病院 事務部 企画課 栗原 玲音

研究所附属病院では、この度ホームページをリニューアルします。12月中旬のサイトリリースを目標に、現在制作会社と協力して作業を進めております。

それに伴い、ホームページ以外にも広報誌やパンフレット等写真での露出の多い医師の皆さんの写真撮影を、プロのカメラマンに依頼することになりました。

プロの現場では、ストロボの配置方法やモデルとカメラマンの位置関係、撮影時のモデルに対する声掛けなど「目から鱗が落ちる」とはこのこと

か！というような技術の数々で、院内のデザイン担当である私にとって、大変勉強になりました。ライティングやモデルとのコミュニケーションは私の中で課題となっていたので、少しでも多くのことを吸収して、より良い写真が撮影できるよう技術の向上に努めたいです。

今後も何回かに分けて撮影を行います。院内でカメラマンの方が撮影をされる機会を見受けることがあるかと思いますが、皆さまご協力をお願いいたします。

障がい者雇用の取り組みについて

創和会本部 人事部 係長 芳本 徹

2021年4月から障がい者雇用担当として本部へ異動となり、約1年6か月が経ちました。この間、研修・セミナー等に参加し先進事例の把握、支援機関との連携、業務切り出しと職場実習の受け入れ、現職者の業務支援等に取り組んできました。

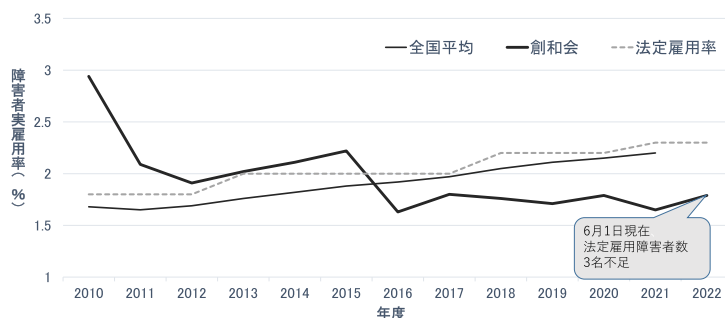
障がい者雇用により実現したことの1つが、定期的に裁断車を活用していたシュレッダー処理をリサイクル業者への持ち込みに変更したこと。これにより、各部署でのシュレッダー業務が削減、シュレッダー処理が必要な書類等を保管するスペースの削減、個人情報等の保護にも繋がりました。昨年6月から開始し、昨年度末までの持ち込み量は何と4380kgに達しました。段ボール1箱あたり15kgとして、実に292箱持ち込んだこととなります。他にも、研究所附属病院 事務部医事課の書類スキャン・整理や、しげい病院 IT 推進情報管理室から依頼のあったパソコンの組み立て補助業務等にも従事しました。

就労支援事業所からの実習生受け入れでは、しげい病院 看護部から提案のあった医療廃棄物やリネン物の回収業務、車いすや外回りの清掃、通所・訪問リハビリテーション部洗面台清掃等の実習を行

いました。なかなか実習から入職に結びつかない現状がありますが、障がい者が活躍できる場の創生に向け、業務切り出しの提案をお待ちしています。

創和会が目指しているのは、障がい者と共に働くことで、職員がお互いに思いやりをもって仕事ができる職場環境です。残念ながら、2022年6月1日現在の定期報告では、法定雇用障害者数が3名不足の状態です（グラフ参照）。今後も共生社会の実現に向けて、職員の皆さんの理解と協力のもと、障がい者雇用の推進に取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

障害者実雇用率(全国平均・創和会)と法定雇用率の推移
(2010年度～2022年度)





しげい病院の「ホッ!とスポット」として、本館1階多目的のホールからみえる「ビオトープ」。約2坪の小さな人工池の周りには、自然に生えた雑草や重井薬用植物園の協力で植えられたいくつかの植物があり、自然と生き物が集まってきます。観察を続けていると、生き物たちのたくさんのドラマや発見があります。

今回は、その境目のキワで起こった「なんで?」「どうして?」な出来事を厳選してご紹介します。

倉敷昆虫館 小橋 理絵子



多目的ホール乱入事件 その1

多目的ホールのドアの内側にトンボがいるとの情報が!



ウスバキトンボ
2021年7月13日

しかも創和会
マークの上!

多目的ホール乱入事件 その2

多目的ホールの窓辺下を這っていたのは、岡山県でも数えるほどしか報告がない珍しいハネカクシ。金色毛でキラキラ★



キンボシハネカクシ
2022年6月9日



昆虫館ヤゴ迷子事件

昆虫館の床をズルズル這う黒い影が視界に…。池にいるはずのヤゴがなぜか侵入!



トンボの幼虫(ヤゴ)
2022年6月28日

のぞき案件

昆虫館の窓にずっと張り付いていました。



ミレハムシ
2022年8月2日

真夜中ガラス戸衝突事件

窓に衝突跡の粉! 成分・形・色から推理すると大型ヤマムシガ類が衝突した羽根跡では? バードストライクならぬ、モスストライク!



特報

今年の初夏、このビオトープで岡山県初記録の昆虫が発見されました! 詳しくは2023年3月発行倉敷昆虫同好会会報「すずむし」にて発表予定です。



◀ビオトープのさらに詳しいご紹介はこちらをご覧ください。

植物園との共催行事は大盛況!!

倉敷昆虫館 館長 岡本 忠

2012（平成 24）年館長に就任し、最初に手がけたのが毎年 11 月 3 日に倉敷市立自然史博物館で催される「博物館まつり」に出展参加することでした。昆虫館のブースは植物園と同一場所であり、共同での運営をしてきました。コロナ禍の 3 年間の中止を除き以後続いて開催しています。

この行事において、植物園の片岡園長との間で何か共同でやれないかという話が持ち上がりしました。その結果、2014（平成 26）年、植物園が開催している定例観察会に開園 50 周年記念行事を 3 回企画し、その内「夜の虫取り体験会」と「トンボ先生がつくった植物園でのトンボとり教室」の 2 回を昆虫館との共催で催すことになりました。もちろん、トンボ先生とは故重井博先生（前創和会理事長）のことです。いずれも定員一杯の参加者で成功裏に終わりました。

2016（平成 28）年からは 7 月に「夜の虫観察会」が毎年開催されており、2017（平成 29）年に 8 月には「トンボをつかまえてみる会」が、さらに 9 月には「虫をつかまえてみるかい!」が加わり植物園での昆虫館との共催行事が 3 つとなりました。

2018（平成 30）年からは、7 月「みんなでた

んけん! 夜の昆虫観察会」。8 月「夏の! 虫をつかまえてみるかい!」9 月「秋の! 虫をつかまえてみるかい!」として継続しています。（2019 年 7 月は台風接近のため中止）

毎回定員 30 人（または親子 10 組）での募集でしたが、（今年は 50 名に）申込期限の初日から申込者が殺到し、近年ではコロナ禍にもかかわらず、数時間で締め切られる状態です。

参加者は小学校低学年以下の子供が主の親子連れがほとんどであり、初めての虫取りを経験する子供もいて、親子共々楽しんでます。特に都會育ちの子供たちにとっては自然に触れるまたとない機会になったことでしょう。ただこれらの子供たちが高学年、中学生となるに従い勉強や塾通い、部活動などに時間を取られ、虫はおろか自然とのふれあいがますます少なくなっていくのが現状であり、大変残念なことです。

最後にご協力いただいている倉敷昆虫同好会の方や植物園ボランティアの方がたに感謝したいと思います。

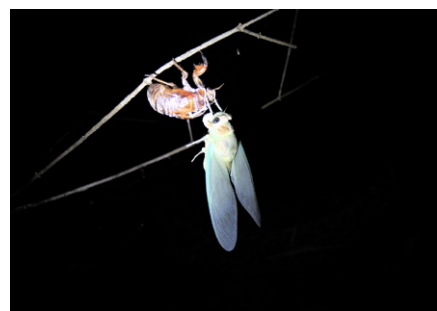
（写真は、今年の 7 月・8 月に開催された観察会の様子です。）



▲危険が一杯、明るい内に下見をする。
片岡園長の説明にも力が入る。



▲日暮れを待ちわびる参加者。
どんな虫が来るか期待が膨らむ。



▲夜間行事でしか見られない風景。
毎年観察できるセミの羽化。



▲池の上をトンボが飛び交っている。
岸に近づくのを網で待ち構える。



▲里山をほうふつさせる園内。
林縁で虫を探す。



▲液は少なく人工の糖蜜で補う。
木の根元で虫を探す子供たち。

はぁもにい倉敷デイサービスセンターのホームページをリニューアル！ ～新しい愛称は「はぁもにいデイ・フィットネス」～

はぁもにい倉敷 介護予防チーム 八尾 美奈子

はぁもにい倉敷 デイサービスセンターは、カルチャー＆フィットネス施設が提供するデイサービスが特徴です。そこで、愛称を「はぁもにいデイ・フィットネス」としました。

また、「安心・安全」「続けやすい」「楽しい」という3つの要素に分けて、ホームページを構成し、見られた方がイメージしやすいようモデルの方やご利用者の方にご協力をいただき、たくさんの写真を取り入れています。

● 3つの要素 ●

「安心・安全」

カルチャー＆フィットネス施設に通うように気軽に始められるデイサービスですが、しがい病院と提携した厚生労働省認定の健康増進施設ということ、健康運動指導士・看護師が多数在籍しており、リハビリテーション職も在籍という所を伝えています。

「続けやすい」

フィットネス施設ならではの運動やマシンの豊富さ、インボディでの効果測定の実施で表現しています。

「楽しい」

短時間でありながらパステルアートや音楽療法、コグニサイズ、手芸等、運動に加えて趣味活動等も一緒にでき、楽しみながら参加できる点をアピールしました。



また、ご利用者の方にご協力いただき、ご利用者の方の声を掲載しています。ご利用スケジュール例にも写真を取り入れて雰囲気が伝わるようにしました。

ホームページのリニューアルを通して、改めてはぁもにいデイ・フィットネスの魅力を見つけることができました。今後もご利用者の方に満足していただけるよう努力していきます。

最後になりましたが、しがい病院 通所・訪問リハビリテーション部の皆さんには、様々な助言・提案をしていただき、大変感謝申し上げます。



◀リニューアルしたホームページはこちら

はぁもにい倉敷は医療法人創和会グループの健康増進施設です。

催し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「蓼(たで)の花彩る野路を楽しむ」

日時：10月22日(土)

10:00～12:00

会場：重井薬用植物園



編集後記

●最近ガチャガチャにはまっています。今どきのガチャガチャはクオリティーも高く、アニメキャラクターや食品関連、家具や家電のミニチュアなどいろいろな種類があり飽きません。中でも僕が集めているのはシユールな動物のガチャガチャです。サウナに入っていたりトイレをしていたりと、これもまた種類が豊富です。先月、1回400円のカチャガチャを3回回しました。狙いはミーアキャットで外れはシャチかなと回す前に話をしていました。大体こういう時は1回目に外れのシャチを引き、しっかりフラグを回収します。まあ1回目は仕方ないなと思い、2回目…シャチ。さすがに3回連続はないでしょと、3回目…シャチ。まだ200-300円のカチャガチャなら立ち直れたものの、1回400円のカチャガチャで3連続丸裸りはさすがにメンタルにきました。それ以降400円のカチャガチャを連続で回すことに対し抵抗ができてしまいました。結局ミーアキャットは諦め、3匹のシャチたちを仲良く並べて部屋に飾っています。(MK)

●先日甥が1歳の誕生日を迎え、お祝いをしました。初めての甥ということもあり、赤ちゃんの生まれてからの成長の早さには驚かされるばかりです。1か月前に会った時はハイハイ、時々つかまり立ち…だった彼も、誕生日の日には元気に5～10歩ほど歩いていて“赤ちゃんの成長ってほんとにすごいな!”と感じました。親バカならぬ伯父バカで、一眼レフを使ってとあるごとにこの1年いろんな写真を撮ってきました。これからはもう少しスピードで成長しては驚かされ続けるんだとおもいます。これからシャッターチャンスを見逃さないよう、沢山写真を撮ってあげたいなと思います。(KR)

EAP相談室コラム

「労を見逃さずにセルフケアしよう」

ジャパン EAP システムズ EAP 相談室

「なんだか最近疲れやすい」と疲労を自覚している方、変化をあまり感じていない方、あるいは「疲れはいつものこと」とおっしゃる方もいるかもしれません。

実は疲労は3大生体アラームのひとつと呼ばれており、軽視は禁物です。疲労に気づいたら、意識的にセルフケアを行っていきましょう。

●生体アラームとは

身体の内環境(ホメオスタシス)の乱れを知らせる重要な警報信号で「疲労」「発熱」「痛み」の3つです。疲労は客観的に測定することが難しく、緊急性や脅威を感じることも少ないためアラームが発動していても見逃されやすく、我慢してしまいやすいといえるでしょう。

●疲れていることに気づこう

人は疲れてくると、身体やところに様々な変化が現れます。「肩を叩かれてもすぐに気づけなかった」「なんだか集中できない」「やる気がでない」「夜、眠れない」といったことに心当たりはありませんか？

そのような場合は「自分は疲れているんだな」「ケアしなさい」という身体からの指令が出ているのかもしれないと受け止めましょう。

疲労の兆候(例)

①刺激に対する反応が遅くなる



②思考力が低下し、注意力散漫になる



③動作が緩慢で、行動量が低下する



④自律神経に異常が起きる



…など

出典：大阪市立大学健康科学イノベーションセンター
http://www.chsi.osaka-cu.ac.jp/project/tire/learn.html

感染対策を意識しながら、「新しい生活様式」を続けていたり、いつもの楽しみ方が制限されてしまうことは、なかなかストレスフルな状況と言えます。しかもまだまだ終わりは見えません。

こうしたときほど疲労という生体アラームを見逃さず、いつも以上にこまめにセルフケアをすることが大切です。休息時間を長めにとったり、趣味の時間をゆったり味わったりするのもいいかもしれません。

なお「セルフケアと言っても何をすればいいの？」という方は、ぜひEAPにご相談ください。生き生きとお過ごしいただくための方法を、一緒に考えさせていただきます。

※医療法人創和会は職員の心の相談窓口として、ジャパン EAP システムズと契約しています。相談はお気軽に、電話やメールで。



医療法人 創和会

生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

しげい病院

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所
〒710-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

重井医学研究所附属病院

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

重井薬用植物園

〒710-0007 倉敷市浅原20
TEL086(423)2396

重井医学研究所

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8207